

「侵略の歴史ゆがめる教科書不採択を」大阪市教委に要請



市教委（右）に署名を提出する大阪市教の宮城登委員長ら＝21日、大阪市役所

大阪市教や新婦人

来年度から4年間、中学校で使用される教科書の採択が8月初旬にも大阪市教育委員会で行われます。大阪市学校園教職員組合（大阪市教）や新日本婦人の会府本部などは21日、大森不二雄大阪市教育委員長あてに「日本の侵略の歴史をゆがめ、平和憲法を攻撃する育鵬社、自由社の中学校歴史、公民教科書を採択しないことを求める」要請書を提出しました。

提出したのは17日に市内で開かれた「教育を守る市民の集い」の参加団体。144団体・2667人の署名を提出し

ました。各団体から「教科書は子どもたちのもの。国際的

に通用しない歴史を学んだ子どもたちが国際的に通用する社会人になれるはずがない」「学問の成果にのっとった普通の教科書を選んでください」などと訴えました。

要請書は、国のために命をささげることが目的とした戦前の教育への痛切な反省から、真理・真実にもとづく教育を保障することが大事と強調。保護者、市民、教職員の意見や声を反映させ、歴史をゆがめ平和憲法を攻撃する中学校歴史・公民教科書を採択しないことを求めています。